

令和 6 年度事業報告書

当法人は、岩手県の「指定検査機関」として浄化槽法に基づく水質に関する検査を実施するとともに、浄化槽の普及啓発を進め、その施工及び維持管理など浄化槽に関する技術の向上及び知識の普及を図ることにより、生活環境の保全と公衆衛生の向上に寄与することを目的に、平成 25 年 4 月、公益社団法人に移行しました。

平成 30 年 1 月には岩手県の汚水処理の構想として「いわて汚水処理ビジョン 2017」が策定され、汚水処理人口普及率の向上のため浄化槽の普及がますます期待される一方、令和 2 年 4 月には「浄化槽法定検査受検率の向上」、「維持管理の指導の強化」等を柱とする改正浄化槽法が施行されるなど、浄化槽を取り巻く状況も大きく変化してきました。

このような状況のもと、令和 6 年度は、岩手県等行政機関、一般社団法人全国浄化槽団体連合会等関係団体と連携し、受検率の一層の向上に努めるとともに、浄化槽管理士研修会の開催や国庫補助金事業である二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金の岩手県における窓口業務を行うなど公益法人及び指定検査機関の役割を推進しました。

(1) 浄化槽の水質に関する検査

	令和 6 年度目標 件数・収入(千円)		令和 6 年度実績 件数・収入(千円)		達成率(%) 件数・収入		令和 5 年度(参考) 件数・収入(千円)	
7 条	1,000	-	931	10,381	93.1%	-	1,026	11,450
11 条	52,600	-	52,989	281,053	100.7%	-	52,748	280,180
計	53,600	291,416	53,920	291,434	100.6%	100.0%	53,774	291,630

法定検査の合計基数は、目標比 320 基増となり、目標を上回ることができました。

(2) 浄化槽機能保証制度の推進

	令和 6 年度目標	令和 6 年度実績	達成率(%)	令和 5 年度(参考)
登録件数	230	192	83.5%	215
収入(円)	956,000	815,400	85.3%	935,000

登録件数は目標の 8 割にとどまりました。

(3) 水質改善への助言

水質改善提言委員会を定期的に開催し、不適正な浄化槽に対して速やかな水質改善に向けた情報提供を進めるとともに、検査結果の解析等から技術情報などを集積し、4 月 21 日付けで岩手県環境生活部長及び県土整備部長に報告書を提出しました。

(4) 浄化槽に関する調査研究の推進等

全国浄化槽技術研究集会(10 月 30 日、31 日、長崎県長崎市)において、稲村所長が「ラインレーザーを用いた光投影法による浄化槽内スラム厚の測定」を、柿木係長が「処理水に残存する懸濁物質及び溶解性有機物が LED 近紫外線消毒に及ぼす影響」と題して発表しました。

また、環境省が実施する二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金の補助事業者(執

行団体）である一般社団法人全国浄化槽団体連合会から委託を受け、岩手県における窓口として浄化槽設置者に対する書類作成指導等を行いました。（補助金受付件数 6 件、委託費収入（労務費）1,130,850 円）

（5） 浄化槽に関する講習会、研修会の開催等

① 浄化槽管理士研修会

改正浄化槽法に基づく浄化槽管理士研修会を 7 月 11 日（木）及び 10 月 17 日（木）に滝沢市の“ツガワ未来館アピオ”、岩手産業文化センターにおいて開催しました。（受講者 184 名）

② 浄化槽維持管理研修会

令和 6 年 7 月 29 日、30 日に岩手県県土整備部下水環境課が開催した浄化槽維持管理研修会（広域振興局、市町村職員など行政担当者を対象とした研修）に協力しました。

③ 技術研修会

令和 6 年 11 月 14 日に滝沢市のツガワ未来館アピオ岩手産業文化センターにおいて岩手県の後援により第 32 回技術研修会を開催し、県内の施工、保守点検、清掃業者に加え浄化槽行政担当者の合計 115 名にご参加いただきました。

④ 岩手県環境保健研究センター一般公開及び下水道探検ツアー

令和 6 年 9 月 7 日（土）には都南浄化センターにおいて下水道探検ツアーが 4 年ぶりに開催されました。また、令和 6 年 10 月 5 日（土）に岩手県環境保健研究センターにおいて「かんぽけん一般公開 2024」が 5 年ぶりに開催されました。当協会ではこれらのイベントにおいて浄化槽カットモデルを展示し浄化槽のしくみや原理などを説明しました。

（6） 浄化槽の普及促進及び啓発活動の推進

10 月 1 日の「浄化槽の日」関連行事として、盛岡城跡公園内の公衆トイレ 4 か所の清掃を盛岡地区会員等の御協力をいただいで実施しました。また、あわせて PR 活動として、「浄化槽の日」のロゴ入りティッシュを中ノ橋周辺で配布しました。

(7) 特定資産取得資金の積立計画及び資金の積立

高額な分析機器の購入や社屋の修繕を計画的かつ安定的に実施するため、資金積立計画に基づき次のとおり資金を積み立てました。

第2期検査関係資産取得資金計画

資金の名称	第2期検査関係資産取得資金
対象となる資産の名称	検査関係資産
目的	公益事業である浄化槽に係る水質検査を円滑に実施するために必要な高額な分析装置やデータを管理するサーバー等を計画的に取得する。
計画期間	平成30年度から令和9年度（10年間）
資産の取得予定時期	令和3年度から令和9年度
資産取得に必要な額	80,200,000 円
前年度末資産残高	29,391,616 円
今年度積立額	6,000,000 円
今年度取崩額	14,007,400 円
購入資産	BOD 全自動希釈装置No.2、インキュベーターNo.1、純水製造装置No.2
今年度末資産見込額	21,384,216 円

分析室建替資産取得資金計画

資金の名称	分析室建替資産取得資金
対象となる資産の名称	検査関係資産
目的	公益事業である浄化槽に係る水質検査を円滑に実施するために築36年となる社屋のうち分析室を20年後に建替えを行うことを目的とするもの。
計画期間	平成30年度から令和19年度（20年間）
資産の取得予定時期	令和20年度
資産取得に必要な額	169,500,000 円
前年度末資産残高	89,400,000 円
今年度積立額	8,500,000 円
今年度末資産見込額	97,900,000 円

(8) その他目的達成のために必要な事業

- ① 行政と連携して法定検査受検申込指導を実施しました。
7条検査受検指導2回（9月、2月）、11条検査受検指導（9月）
- ② 行政と連携して浄化槽台帳の精査を実施しました。
- ③ 年2回、会報「みず」を発刊し、会員への情報提供に努めました。（令和6年8月、令和7年1月、その他号外を1回発行：広報部会）